

4.豊かな心と創造性を育むまちづくり

学校教育

School education

■現況及び課題

平成14年度から実施の新学習指導要領では、「ゆとり」の中で「生きる力」を育むことが求められています。体験活動を充実し、「総合的な学習の時間」を中心に、それらの力を育てていきたいと考えています。そのために、専門家である外部講師の募集などが必要ですが、「地域に開かれた学校づくり」や「各学校の創意工夫ある教育活動の創造」を主眼として、その実現が求められています。

現在、本市においては、不登校や問題を持つ子どもと家庭に対し、スクールカウンセラーが1校に配置されていますが、臨床心理という専門的な立場からのカウンセリングが今後ますます重要になってきます。生活指導については、平成10年度から配置された心の教室相談員、青少年センターによる健全育成活動や随時の電話相談、適応指導教室「あすなる教室」による指導等に取り組んでいますが、社会情勢の複雑化等により困難さを増して

きています。

国際化が今後ますます進むことを視野に入れ、国際理解教育の推進のため、外国人英語指導助手による英語の授業を小中学校で実施していますが、生きた英語に親しむと同時に、外国の生活・文化の理解にも役立つため、今後一層の充実を図っていくことが望まれます。

高度情報化の進展はめざましく、いまや、学校教育においても国外の学校とのメール交換、インターネットを利用したの情報収集など、幅広い活用が行われ、情報教育は必要不可欠なものとなってきています。今後は、情報ネットワークセンター・図書館等との連携により、学習内容の一層の充実と情報収集環境の整備が必要になってきます。

献立内容の充実した豊かで安全な学校給食を実現するため、施設の保全に努めながら、設備機器の更新を行うとともに、魅力ある学校給食にするための食器具等の改善に努めてきました。今後においては、0-157問題対策の衛生管理強化、献立の多様化、調理機器操作の省力化・合理化などに努めると同時に、老朽化が進む2か所の給食センターを統合した新給食センターの建設が求められています。本市には、県立高等学校が3校と、大学が1校あります。愛知工科大学は、昭和62年度に愛知技術短期大学として開学し、

学校教育

[施策の体系]

1.新しい時代に対応する教育の推進

- 特色ある教育・学校づくり
- 国際化・情報化への対応
- 教員の資質向上

2.心の教育の推進

3.特殊教育・生徒指導の充実

4.健康教育の推進

5.幼児教育の充実

6.学校教育施設の整備

7.学校給食施設の整備

8.大学・研究機関との連携

平成12年度から電子情報工学科、機械システム工学科の2科を備えた4年制大学となりました。人間、環境、システムといった今日的な課題の追求を通じて、本市の教育と文化の向上が期待されています。

■基本方針

学校週5日制のもと、ゆとりの中で、子どもたちに将来にわたっての「生きる力」を育むことを目指し、特色ある教育・学校づくりを進めるとともに、一人ひとりの個性を伸ばす教育の実現に努めます。明日を担う市民を育てるため、次の6項目の指導重点達成を目指します。



親子教室探鳥会

① 命を尊び、心や体を鍛え、たくましく生きぬく力を養う。

② 深く考え、自ら学びとる態度や習慣を育てる。

③ 礼節を重んじ、心豊かな生活を築こうとする態度を養う。

④ 勤労を重んじ、ものを大切にし、すすんで奉仕する態度を養う。

⑤ 平和を愛し、国際社会に生きる日本人としての資質を養う。

⑥ 家庭や郷土・国を愛し、広い視野を持った人間を育てる。

4.豊かな心と創造性を育むまちづくり

■施 策

1 新しい時代に対応する教育の推進

急激な高度情報化、国際化、科学技術の進展、少子化などの社会情勢の変化に伴い、子どもたちの生活や環境も大きく様変わりしつつありますが、この現実を直視した上で、次の施策を推進します。

特色ある教育・学校づくり

「総合的な学習の時間」等、各学校が創意工夫を凝らした特色ある教育・学校づくりをするとともに、環境の整備を図ります。

国際化・情報化への対応

国際化に対応していくため、中学生海外派遣事業や外国人英語指導助手による英語教育などの充実を図ります。

教員の資質向上

豊かな発想と創意を生かした研修の充実を図り、教員の資質向上に努めます。

2 心の教育の推進

学校はもちろんのこと、家庭・地域と一体になって「心の教育」の充実を努めます。

3 特殊教育 3 特殊教育・生徒指導の充実

知的障害学級・情緒障害学級等の指導体制の充実を努めます。

また、スクールカウンセラー・心の教室

相談員・青少年センター・適応指導教室「あすなる教室」等の指導体制の充実にも努めます。

4 健康教育の推進

児童・生徒の健康保持と増進を図るため、検査・検診を充実するとともに、心の健康・望ましい食習慣の形成など、健康に対する意識の高揚を図ります。

5 幼児教育の充実

幼稚園教育に対する保護者の要望に応えるために、私立幼稚園の誘致に努めます。

6 学校教育施設の整備

老朽施設の整備を図るとともに、体育館の耐震補強に努めます。

また、障害児との交流を深めるためにも、ユニバーサルデザインを考慮した施設整備に努めます。

さらに、蒲郡市行政改革大綱の推進事項である小中学校の統廃合については、調査を行い、実施に向けて検討を進めます。

7 学校給食施設の整備

老朽化が進む2か所の給食センターを統合した新給食センターの建設に努めます。

8 大学・研究機関との連携

教育の体験学習の場として、また、知識・技術の習得の場として、大学・研究機関との連携や交流を深め、教育文化及び生涯学習の発展を支える環境づくりに努めます。

また、公開講座の開催や*リカレント教育の実施など、学習機会の充実を働きかけます。



ふれ愛 Day in 中部

用語解説 リカレント教育...社会に出た人が自己表現や職業能力の開発などに必要な知識、技術、教養を身に付けるため、再び受ける教育のこと。

■主な事業・計画

事業名	概要	計画期間		事業主体
		前期	後期	
小学校施設整備事業	地域住民の避難所となる老朽化した体育館の大規模改修及び耐震補強工事の実施			蒲郡市
中学校施設整備事業	地域住民の避難所となる老朽化した体育館の大規模改修及び耐震補強工事の実施			蒲郡市
新学校給食センター建設事業	現在の給食センター(2か所)を統合した新学校給食センターの建設 ドライ方式、鉄筋コンクリート一部鉄骨二階建、調理可能食数1万食			蒲郡市
コンピュータ整備事業	小学校コンピュータの増設(40台)及び小中学校の校内LANの構築			蒲郡市

●掲載資料 小中学校児童・生徒数の推移

児童数(小学校) **男** **女** 生徒数(中学校) **男** **女**

